

実験用混練機との相関も検証する。

このような方法で開発した最新ロータである 4WN ロータの混練性能について、以下に述べる。

4. 4WN ロータの性能

混練性能を決定する主な要因はロータの形状に関する各種因子である。当社においても、4 翼ロータ (4WS ロータ) をメニューとして持っていたが、混練材料の均一化性能を向上させる必要が生じたため、前章の方法に基づいて 4WH ロータを開発した (図 3)。4WH ロータは

つきは 4WH ロータと同等以上を確保できている。